

【国際交流活動の推進】 平成22年度 村松東小 こんな学校をめざします

【地域に開かれた学校づくり】

- 韓国上都初等学校との交流活動
- 新大留学生との国際交流活動

【教育目標】 新しい自分を探し続ける子供

- 地域の学校応援団との連携
東っ子を育む会 走和会 見守り隊
- 学校だよりや各種便り等による情報の双方向化
- PTA・学校評議員・民生児童委員との連携

【知育】 学習の基礎基本を身に付け、考えを深め合う子供の育成

今年度の重点目標

【徳育】 自分のよさを認め、思いやりの心をもつ子供の育成

【体育】 体を動かすことを好み、規則正しく生活する子供の育成

【めざす教師像】

【特別支援教育の充実】

- 児童理解を深める校内・校外の研修への積極的参加
- 校内委員会の実施と全校体制での取組
- 個別の指導計画の作成と活用や改善

- 豊かな人間性、子供を愛する教師
- 自己研鑽し向上する教師
- 創意工夫し学校経営に参画する教師

Plan

Do

【知のプロジェクト推進部】の取組

- 1 教材を準備し学習課題や学習活動の工夫を図り、きめ細やかな個別指導で「分かる授業」に努めます。
- 2 定期的な「国語・算数習熟テスト」の実施や朝読書・読書（読み聞かせ）に取り組みます。
- 3 校内研修では、自分の考えをもち、主体的に追求する子供の育成を目指します。
- 4 ふるさとの自然・歴史・文化や地域の人々から学ぶ活動を取り入れ、総合学習を行います。
- 5 保護者と連携して、学年×10+15分の家庭学習時間の習慣化を図ります。

【こんな成果を期待します】

- 算数のワークテストでの全校平均点が85点を上回る。
- 習熟テストの全校平均点が90点を上回る。
- CRT学カテストの国語・算数の学年平均点が昨年比を上回る。
- 総合学習で「自分の課題を見つけ追究することができた」とする子供が90%を上回る。
- 家庭学習時間が学年の目標時間をこえたとする子供が80%を上回る。研究授業



【徳のプロジェクト推進部】の取組

- 1 全校道徳授業の公開、「心のノート」や「生きる」を活用した道徳授業を工夫し、授業の充実を図ります。
- 2 全校あいさつ運動や児童会との連携を通して、あいさつや返事の励行に努めます。
- 3 異学年交流や全校縦割り活動、学級での「なかよしタイム」を実施することで子供同士のかかわりを深めます。
- 4 学期ごとの子供と担任の「ふれあい旬間」では、日常の観察や意識調査・職員間の情報交換を通して、子供の悩みの解決や子供理解に努めます。

【こんな成果を期待します】

- 「80%以上の子供が自分から元気なあいさつやはっきりした返事をする事ができた」学級が全10学級を目指す。
- 「85%以上の子供が友達と仲良く過ごす姿が見られた」学級が全10学級を目指す。
- いじめ・不登校の発生件数0を目指す。

異学年交流



デイサービスセンター訪問



【体のプロジェクト推進部】の取組

- 1 年2回体力テストを実施、体力づくり運動の工夫を図り、体力向上を目指します。
- 2 体を動かして遊ぶ「教室に誰もいないデー」や「ふれあいタイム」の活用、子供たちの運動環境を整備することで、体を動かすことの楽しさを味わわせます。
- 3 子供の生活実態を把握し、学級活動や保健学習での取組、家庭と連携した取組で基本的な生活習慣の改善を図ります。
(食事・睡眠)

【こんな成果を期待します】

- 走にかかわる体力テストの結果が、各学級男女ともに昨年度の県平均を上回る。
- 休み時間に元気よく遊んだ子供の割合が80%以上を目指す。
- 全学級「目標設定した就寝時刻に寝る」とする子供が60%以上を目指す。

運動会



食育指導



Action

Check

村松東小の教育課題

○学力の向上

○豊かな心の育成

○体力の向上・生活習慣の育成